

事業評価書

補助事業名	日出生台演習場関連公共施設(教育文化施設：淮園小学校冷暖房機設置工事)整備事業						
補助事業者名	九重町長						
実施場所	大分県玖珠郡九重町 淮園小学校						
補助事業の成果の目標	淮園小学校は現状で空調が設置されておらず、近年の異常気象や、PM2.5の環境汚染等により単純な窓の開閉による調整では対応が困難となっており、空調を整備することにより環境ストレスを低減し、授業に集中できる学習環境を整える。						
補助事業の内容	普通教室 5室 図書館 1室 へのパッケージエアコンを設置						
補助事業の始期及び終期	平成27年度						
事業費及び交付金額		27年度					計
	事業費	5,670,000円					5,670,000円
	交付金額	5,500,000円					5,500,000円
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 学校教諭より、授業中の集中力が増し、学習活動も活発になったとの報告があり、学習環境の整備が図られている。</p> <p>【地域住民への周知の実施方法】 調整交付金事業である旨を九重町の広報誌への掲載(4月号)、工事中の看板への掲載、冷暖房機へのラベル貼付、PTA総会での報告</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分別及び基金残額についても記載すること。
2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	日出生台演習場関連公共用施設（交通施設：梅木津留下畑線）整備事業						
補助事業者名	九重町長						
実施場所	大分県玖珠郡九重町大字田野						
補助事業の成果の目標	本路線は、幅員が2.5～3.0m程度で幅員狭小であるため、離合が困難であり、通行に支障を来している。 このため未改良区間の道路改良拡幅工事を実施し、道路整備を行うことで交通の円滑化と住民の利便性の向上を図ることを目標とする。						
補助事業の内容	測量設計 延長L = 277m、幅員W=4m（平成24年度） 用地測量 延長L = 277m、幅員W=4m（平成25年度） 道路改良工事 延長L = 105m、幅員W=4m（平成26年度） 道路改良工事 延長L = 152m、幅員W=4m（平成27年度）						
補助事業の始期及び終期	平成24年度から平成27年度						
事業費及び交付金額		24年度	25年度	26年度	27年度		計
	事業費	円 3,636,150	円 1,875,300	円 30,464,640	円 16,668,720	円	円 52,644,810
	交付金額	3,500,000	1,600,000	28,000,000	16,330,000		49,430,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	事業完了後、地域住民にアンケート調査を実施したところ、8割以上の方から生活の利便性が向上したとの回答が得られ、交通の円滑化及び住民の利便性向上に寄与していることが確認できた。 また、周知については、地元説明会にて特定防衛施設周辺整備調整交付金の説明を行い、工事中は工事看板、工事完了後は広報での周知を行った。						
事業の改善策及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	日出生台演習場関連公共施設（消防に関する施設：小型動力ポンプ付積載車）整備事業						
補助事業者名	九重町長						
実施場所	大分県玖珠郡九重町大字後野上						
補助事業の成果の目標	九重町消防団では全28部で構成され消防タンク車2台、消防ポンプ車6台、小型動力ポンプ20台を配備しており、火災等の災害時には町民の生命、財産を守るために必要不可欠な車両である。 本件の小型動力ポンプ付積載車は、配置後22年が経過しており電気系の腐食やポンプからのオイル漏れ等不具合が生じている状態であるため、更新を行い消防力の維持を図ることを目標とする。						
補助事業の内容	小型動力ポンプ・・・B-2級 積載車・・・4WD、2900CC						
補助事業の始期及び終期	平成27年度						
事業費及び交付金額		27年度					計
	事業費	円 5,929,200	円	円	円	円	円 5,929,200
	交付金額	5,929,000					5,929,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	更新車両の評価について「更新車両及びポンプでの訓練の結果、排気量のアップにより災害現場への到着時間が短縮され、更新ポンプでの放水訓練では火点への放水開始時間も短縮され、消防力の改善が図られた。」との報告を消防団から受けた。 周知については、車両に「特定防衛施設周辺整備調整交付金」と表示するとともに、広報「ここのえ4月号」およびケーブルテレビにて周知を行った。						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分類及び基金残額についても記載すること。
2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	日出生台演習場関連公共施設（教育文化施設：園児送迎バス）整備事業						
補助事業者名	九重町長						
実施場所	九重町大字引治508-1						
補助事業の成果の目標	<p>このえみつばこども園は、3つの保育園と3つの幼稚園を統合して幼保連携型認定こども園として平成28年4月に開園する。統合により子どもたちは、多くの友人と集団での生活を体験することができ、あわせて地方でも深刻な課題となっている保育士不足を解決する面でもスケールメリットが望める。</p> <p>このこども園に通う予定の子どもたちの通園方法について、園バスを購入し送迎をすることで、安心かつ安全な通園支援を行うことを目的とする。</p>						
補助事業の内容	大人3人、幼児39人乗りのマイクロバス2台を購入						
補助事業の始期及び終期	平成27年度						
事業費及び交付金額		27年度					計
	事業費	円 10,733,351	円	円	円	円	円
	交付金額	10,500,000					
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>園バスを購入し、東飯田地区、野上地区の2路線を一般旅客自動車運送事業を行う者に委託することでバスを運行している。</p> <p>平成28年度の実績は、運行日数は2路線で計567日、平日は、20人／台前後の園児が通園バスを利用している。年間を通して園バスによる事故等はなく、保護者にとっては、安心、安全な通園と統合により距離が遠くなったことに伴う園児送迎の負担が軽減されており、通園支援を行うことができている。</p> <p>また、地域住民には、町の広報誌および園バスに「特定防衛施設周辺整備調整交付金事業」と記載することで周知を図っている。</p>						
事業の改善策及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分類及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	日出生台演習場関連公共用施設(教育文化施設：平家山集会所)整備事業						
補助事業者名	九重町長						
実施場所	大分県玖珠郡九重町大字野上						
補助事業の成果の目標	現集会所は、築27年を経過し基礎や内外装の傷みも激しく特に高齢者にとっては使い勝手の悪い仕様となっている。施設の建て替えにより高齢者が使いやすいバリアフリー化を施し、トイレを洋式にしたり集会室を仕切って使えるようにするなど機能の充実を図り、住民の利便に供するとともに地域コミュニティ活動の拠点として地域の活性化を促進する。						
補助事業の内容	集会所(81.79㎡)の新築設計及び工事						
補助事業の始期及び終期	平成27年度						
事業費及び交付金額		27年度					計
	事業費	円 18,616,000	円	円	円	円	円 18,616,000
	交付金額	17,596,000					17,596,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 バリアフリー化を図り、高齢の利用者にも使い勝手の良い、玄関、トイレとなった。また、集会室に仕切りを設置したことで、利用時間が重なったときにも安心して利用できる等の報告を受けており、住民の利便性向上及びコミュニティ活動の拠点化に寄与できている。</p> <p>【地域住民への周知の実施方法】 集会等での地域住民への周知、九重町の広報誌への掲載(4月号)、工事中の看板への掲載、建物への記載を行った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	日出生台演習場関連公共施設(教育文化施設：野上小学校外2校遊具改修)整備事業						
補助事業者名	九重町長						
実施場所	大分県玖珠郡九重町 野上小学校・野矢小学校・淮園小学校						
補助事業の成果の目標	野上小学校・野矢小学校・淮園小学校に設置されている老朽化した遊具や安全基準を満たしていない遊具を撤去し、学校から要望のあった遊具を設置し、児童が安全で安心して利用出来る教育環境を整えるものである。						
補助事業の内容	遊具施設整備 一式						
補助事業の始期及び終期	平成27年度						
事業費及び交付金額		27年度					計
	事業費	22,572,000					22,572,000
	交付金額	22,000,000					22,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 遊具の安全に関する規準に適合した遊具整備を行うことで、不必要な危険：ハザード(ボルトの突起・障害物等)がなくなり、児童が安全に利用出来る教育環境の整備が行えた。整備後に学校側から、普段は、外で遊ばなかった児童も、外で遊ぶようになり、集団活動の中で順番を守って利用するという規範意識の醸成にも繋がっているとの報告を受けた。</p> <p>【地域住民への周知の実施方法】 九重町のHPおよび広報誌への掲載(4月号)、工事中の看板への掲載、設置遊具へのラベル貼付を行い周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	日出生台演習場関連公共用施設（交通施設：栗野牧口線）整備事業						
補助事業者名	九重町長						
実施場所	大分県玖珠郡九重町大字栗野						
補助事業の成果の目標	当該路線は、経年変化による舗装の傷みが激しいことから、舗装改修工事を実施し、道路利用者の安全を確保することにより、利便性の向上を目的とする。						
補助事業の内容	舗装改修工事 L=488.0m						
補助事業の始期及び終期	平成27年度						
事業費及び交付金額		27年度					計
	事業費	円 13,106,880	円	円	円	円	円 13,106,880
	交付金額	12,000,000					12,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	事業完了後、地域住民にアンケート調査を実施したところ、「舗装が綺麗になり、前より安全に通行できるようになった」等、8割以上の方から良好な回答が得られており、生活の利便性の向上に寄与することができた。 また、周知については、地元説明会にて特定防衛施設周辺整備調整交付金の説明を行い、工事実施時には工事看板に記載し、さらに広報誌（4月号）にも掲載することで周知を行った。						
事業の改善策及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	日出生台演習場関連公共用施設（交通施設：蕨原線）整備事業						
補助事業者名	九重町長						
実施場所	大分県玖珠郡九重町大字田野						
補助事業の成果の目標	当該路線は、経年変化による舗装の傷みが激しいことから、舗装改修工事を実施し、道路利用者の安全を確保することにより、利便性の向上を目的とする。						
補助事業の内容	道路舗装改修工事 L=920.0m						
補助事業の始期及び終期	平成27年度						
事業費及び交付金額		27年度					計
	事業費	円 20,018,880	円	円	円	円	円 20,018,880
	交付金額	18,950,000					18,950,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	事業完了後、地域住民にアンケート調査を実施したところ、「道路が綺麗になり、前より安全に通行できるようになった」等、8割以上の方から良好な回答が得られており、生活の利便性の向上に寄与することができた。 また、周知については、地元説明会にて特定防衛施設周辺整備調整交付金の説明を行い、工事実施時には工事看板に記載し、さらに広報誌（4月号）にも掲載することで周知を行った。						
事業の改善策及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。